

土木機械設備技術研修会の開催報告



(一社)日本建設機械施工協会中国支部では、事業活動の一環として平成26年度より、「土木機械設備技術研修会」を開催しています。今年度は去る10月30日(水)に土木機械設備の保守点検に携わる協会支部会員17名が参加し実施しました。最初に斐伊川放水路事業と施設概要及びメンテナンス(点検整備)、保守管理の実態、経年変化による施設の状況等について説明を聞いた後、平成25年から供用中の放水路分流堰、神戸堰の現場を見学し、維持管理の具体的な課題等について、現地の状況を確認すると共に、質疑応答により意見の交換を行いました。

本研修会も今回で六回目となりましたが今後も、多種多様な施設について、建設当初の設計条件・目的・意図・工夫等や供用後の具体的な維持管理の実態等について知識や見聞を深め、専門性の高い点検・整備のあり方や長寿命化に向けての技術力を向上させる研修会として今後も継続していくこととしています。

今回の研修会実施にあたりご協力頂いた関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

○研修日程(13時00分～16時00分)

1) 事業・施設の概要説明

- ①事業概要について
- ②管理施設について

2) 実地研修

- ・斐伊川放水路分流堰、神戸堰

3) 研修後の意見

- ①施設の運用・管理について、変化が著しい自然条件及び河川の特性や現地条件に的確対応することが求められており、関係者の責務と重要性を再認識した。
- ②メンテナンスにおける個別の課題がよく理解できた。
- ③管理の効率化や施設の更新に関して、データの蓄積等計画的な対応が必要である。



放水路分流堰



神戸堰

